

## 1.5T、3T MRI 装置について

### 1. 装置特徴

- 1.5T、3T は磁場強度を示しています。一般的に高磁場装置のほうが画像の信号強度が強く高分解能画像を撮像することが可能です。
- 3T MRI 装置は、動きによる影響を非常に受けやすく、空気を多く含む領域で磁場不均一の影響を受けやすいです。胸部や腹部、脊椎領域では、高磁場装置の利点を発揮できない可能性があります。
- ご予約の際は、下記の表を参考に MRI 装置選択をしていただけますと幸いです。

領域	部位	1.5T	3T	備考
頭部	脳	○	◎	
	MRA	○	◎	
頸部	上顎・下顎・頸部	○	△	
	MRA	△	◎	
胸部	心臓	○	-	
	縦隔	○	△	
腹部	上腹部(肝胆脾領域)	○	△	
	下腹部(子宮・卵巣、前立腺)	○	○	
脊椎	頸椎	○	△	
	胸椎	○	△	
	腰椎	○	△	
四肢	上肢(上腕～前腕)	○	○	手関節のみ:3T◎
	手部	○	◎	
	下肢(大腿～下腿)	○	○	膝関節のみ:3T◎
	足部	○	◎	

### 2. 予約時について

- 3T 装置での検査をご希望される際は、受診依頼票に記載をお願いします。
- 体内に留置されたインプラント、クリップ等の影響で 3T MRI 装置での検査が実施できず 1.5T MRI 装置での検査に変更する場合がありますので予めご了承ください。
- ご不明な点は、岡崎市民病院放射線科受付(0564-66-7160)にお問い合わせください。